
◎行政報告

○議長（山本浩平君） 日程第4、行政報告を行います。

町長から行政報告の申し出がありましたので、これを許可いたします。

戸田町長。

〔町長 戸田安彦君登壇〕

○町長（戸田安彦君） 平成25年白老町議会定例会3月会議の再開に当たり行政報告を申し上げます。

初めに、竹浦・虎杖・萩野中学校で閉校式についてであります。ことし4月から白翔中学校が開校されるに当たり2月2日、16日、23日に竹浦・虎杖・萩野中学校それぞれで閉校式が挙行されました。本町の豊かな自然と人間味あふれる地域の中で育った卒業生は3校合わせて約1万人にも及び北海道内外において活躍されております。このことは学校の双肩にかけた先人の願いを地域の方々を初め保護者の皆様方が、着実に継承された努力の証しであると考えております。このような輝かしい成果を築かれた3校がその歴史に幕を閉じることは、生徒や保護者、地域の皆様にとりまして誠に寂しい限りであり、万感胸に迫るものがあるのご推察いたしますが、これまで幾多の先輩たちが築いてこられた伝統と実績は4月に開校する白翔中学校へと引き継がれ、その役割を立派に果たされてくれるものと確信しております。町としても統合してよかったと誰もが思う、子供を主人公とした学校づくりを進めてまいります。これまで3校の発展と統合に向け、ご協力いただきました町議会を初め、保護者や地域の皆様、そして、統合準備委員会、学校関係各位に心から感謝申し上げます。

次に、アイヌミュージアムフェアイン広島についてであります。本事業は、アイヌ民族博物館の活動を通じてアイヌ文化に対する関心を広め、誘客につなげる目的から2月3日広島市において実施したものであります。道外では、横浜、大阪、仙台に次いで4回目となる移動博物館事業で、いずれも国や道の補助金を活用して実施されたところであります。開催に当たっては、広島県在住の北海道出身者で組織する広島道産子会初め多くの機関の協力を得て、当日会場となる県民文化センターには定員を超える600人もの来場があり、ムックリ演奏体験や学芸員講話、アイヌ古式舞踊の公演などを通じ、アイヌ文化に触れる機会の少ない中国地方の方々にその一端を体感していただき、アイヌ文化に対する理解や白老町の知名度を高めることに大変効果的な取り組みであったと認識しております。

次に、白老町バイオマス燃料化事業についてであります。バイオマス燃料化施設は、稼働して4年が経過いたしますが、この間さまざまな課題が発生し、議会においても多くのご指摘、ご提言をいただいております。私は、町長就任以来これらの課題解決に向けて検討を重ねてきましたが、いまだ安定稼働に至っていないのが実態であります。燃料化施設稼働後における事業の総括として報告書を取りまとめ、後日報告することといたしますが、その報告を前にバイオマス燃料化施設に対する所見を述べさせていただきます。

この事業の構想時に掲げた基本理念に基づき、国の目指す循環型社会の構築に向けた先進的

な取り組みを行ったことは意義のあることと、これまでも議会や公の場でお話をしてきました。しかし、本事業の当初計画の事業効果については、町民の皆様にご約束したことがいまだ達成されず、財政負担の増大を招く結果となり、多大なご迷惑をおかけしていることに対しましては深くおわび申し上げます。計画を達成できていない原因や問題点、改善の取り組みなどを総括し、次のステップに進むために、先般、今後のバイオマス燃料化施設の運営方針案を示させていただきました。これまでの取り組みの反省の上に立ち、今後のバイオマス燃料化施設の運営をできる限り町民に負担をかけず、ごみ処理を含め施設の安定稼働に努めていくことがこれからの私の責務であると認識しております。今後は施設の改善等に全力を挙げて取り組んでまいります。町民の皆様にごこれまでの経過や今後の方針等について十分な説明を行い、理解と協力を賜り、私の責任のもと再出発させていただきたいと考えております。

なお、本3月会議には、新年度各会計予算を含む議案39件を提案申し上げますので、よろしくご審議賜りたいと存じます。